

ROTARY INTERNATIONAL



2017-2018
国際ロータリーテーマ

ロータリー：
変化をもたらす

川崎西ロータリークラブ会報



2017-2018 年度 RI 会長 イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第 2590 地区 川崎西ロータリークラブ

会長 黒川俊一 幹事 上松義典 会報委員長 池田裕一

Kawasaki-West RC Weekly 2017-2018

第 2528 回例会 (17/18 年度第 11 回)

平成 29 年 9 月 22 日 (金)

■ 点鐘並びに開会宣言～黒川 俊一 会長

■ 斉唱 ～ソングリーダー 三木 博之 会員

R ソング「それでこそロータリー」

■ お客様紹介 ～親睦活動委員会板橋忠彦副委員長

大和田 弘 様 (東京西 RC)

金子 大 様 (RI 第 2590 地区ガバナーエレクト
横浜中 RC)

千田 晴久 様 (RI 第 2590 地区次年度地区幹事
横浜中 RC)

周 東博 様 (米山奨学生)

■ 来賓挨拶 ～金子 大 様

皆様こんにちは。本来であればもう少し早くご挨拶に来なければいけません、話したいことがたくさんあり、本日になってしま



いました。高良直前ガバナー、川邊直前地区幹事には、一年間お世話になりました。また、斉藤二郎パストガバナーには、いつもお会いする度にあなたかい声をかけて頂き心に残っています。会長をはじめ会員の皆様方にお世話になり、有難うございます。私の年度は来年ですので、よろしくお願ひいたします。簡単ではありますが、挨拶にかえさせて頂きます。

■ 米山奨学金の授与～黒川 俊一 会長

周 東博 米山奨学生

■ 会長報告 ～黒川 俊一 会長

- ① 去る 9 月 10 日、ロータリーシップ研究会 (RLI) パート I に上松幹事と参加して参りました。当日は 40 名のロータリアンの参加のもと、一日 6 セッションが、行われました。テーマを設け少人数の対話式です。長

時間ではありましたが、他のクラブ会員とも親しくなり懇親を深めることが出来ました。

- ② 地区より 2017～18 年度米山学友会総会開催の案内が参っております。日時は 10 月 7 日 (土) 18:30～、場所はウイリング横浜 12 階。(詳細は事務局へお問い合わせください)

- ③ 横浜北 RC が、近隣 3 クラブと協力し、難病と闘う「佐々木あやめちゃん」の心臓移植の為の募金活動を支援しておられます。今回と次週の 2 回に渡り、募金箱を置かせて頂きますので、皆様のご理解とご協力を宜しくお願ひ致します。

■ 幹事報告～上松義典幹事会報裏面をご覧ください。

■ 各委員会報告

□ 出席委員会

本日	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2528 回	70 名	68 名	59 名	9 名	86.8%
前々回修正		メキヤップ 1 名		9 名	86.8%

□ 親睦活動委員会 ～佐野 和人 委員長

10 月 6 日の親睦サロンは、新富で行いますので、皆様宜しくお願ひ致します。酒奉行の方も少なくなってきましたのでご協力お願ひいたします。

□ クラブ会報 ～平井 大智 副委員長

本日配布の会報にて、第 2526 回例会卓話の記載内容に訂正がありますので確認して頂ければと思います。お詫びして訂正をいたします。

■ 卓話 ～「入会卓話」 小野寺 伸夫 会員

本日はお時間をいただきまして、私についてお話を



させていただきます。生まれですが、昭和46年に生まれまして、現在46歳になります。28歳のときに結婚しまして、妻が一人、16歳の娘が一人、3人家族で新横浜

の隣の岸根公園に住んでおります。娘は鎌倉にあります鎌倉女学院という女子高に通っています。今高校1年生、オーケストラ部に所属してバイオリンをやっております。妻は専業主婦でして、地元のフラダンス教室に通って、時々地域のお祭りや老人クラブなどで踊っているようです。

生まれたのは北海道の室蘭という町です。父が苫小牧の工業高校を卒業して、鉄鋼メーカーの日本製鋼所に就職し、室蘭にある工場に勤務しておりました。そこで市役所に勤務していた母とお見合いをして結婚、姉が生まれ、その3年後に私が生まれました。父の実家は北海道の静内というところで、競馬馬の産地として有名です。漁港のある町で、その水産加工会社の6男として生まれました。母は室蘭出身で実家は酒屋をやっておりました。

父の転勤で3歳のときに東京に出てきました。父の会社の社宅に住んだわけですが、場所は渋谷区の代々木上原でした。小学校は上原小学校でした。小学校5年生のときに父の会社が住んでいた社宅を売却することになり、生まれて初めて転校を体験することになります。転校は子供にとっては一大事であり、元々、人見知りの性格でもあり、すでに5年間でガッチリできあがった新しい学校の人間関係のなかに飛び込んでいくのは、いろいろ大変な思いであったわけですが、そうした中で新しい友達を作っていくことはいい経験だったと思っています。中学校は稲城第二中学校に行きました。中学ではバスケットボール部に入ると同時に、成城学園前にあった塾にも入塾し、忙しく過ごしていました。このころ、部活と塾以外にもう一つ私の生活の中心となり、今でも趣味となっているものがあります。それは音楽で、ジャンルはヘビーメタル・ハードロックです。私が中学1年生の時にいとこの影響でロックを聴き始め、お年玉でエレキギターを買って練習を始めました。中学生ではありましたが、オジーオズボーンやアイアンメイデン、ディープパープルなどのコンサートに一人で行っておりました。こうした中学生生活はあっという間に過ぎまして、受験を迎えます。高校受験は成功しまして、開成高校に合格いたしました。開成高校は生徒の約半分が東大に行くという学校ですが、非常に校則は緩やかで、自由な校風の学校でした。天才というのはこういう人を使うのだなという位すごいクラスメートもいまして、高校1年で、すでに大学の物理の教科書を読んでいる人もいました。

大学は慶応大学の経済学部に進学しました。大学時代は

特にサークルなどには入らず、高校からの友人がたくさんいましたので、そうした友人と遊んでいました。

平成7年に横浜銀行に入りまして、最初の勤務店は厚木支店でした。入行して1年もたたずに、法人営業の渉外担当になりましたが、当時は営業推進をするというよりは延滞先の管理や倒産処理などに走り回ることが多く、今とはまるで違う世界でありました。厚木支店ののち、28歳のときに武蔵小杉支店に転勤になりました。当時の支店長は、この川崎西ロータリークラブに所属していた金子でした。武蔵小杉支店に4年いたのち、新宿支店、本部の経営企画部、営業企画部を経て今回4月に異動を命じられ、溝口支店に異動になりました。実は溝口支店は、この11月をもって開設75年を迎える非常に歴史のある旗艦店舗です。75年前、戦時中に開設されました。当時、横浜銀行は横浜興信銀行という名前でした。横浜興信銀行というのは第一次世界大戦後の恐慌下で破綻した横浜の銀行を整理して引き継ぐ目的で地元の名士の方々が出資して設立された銀行です。あまり知られてはいませんが、その生い立ちから、横浜銀行は財閥色のない独立性の高い銀行で、しかも地元資本で設立されたという意味で真に地元のみなさんの銀行であるということでもあります。今、支店では昔の写真も使って75周年記念のポスターを独自に作成して掲示しています。私が自分でデザインしたポスターですので、是非機会があればご覧いただきたいと思います。

着任して約半年経ちますが、一番注力したいと思っていることは、事業承継です。社長世代の高齢化が進んでおり、会社によっては後継者不在からM&Aにより会社を第三者に託したいというニーズも高まっています。また、後継者のいる会社様でも、その後継者にどう株式を移すか、相続税対策をどのように行うかについて非常に悩まれています。こうしたご相談にきめ細かくこたえていくことが、地元地銀としての最大の役割だと思って活動しております。

締めくくりにプライベートのお話をしたいと思います。この3月に、渋谷の上原小学校の同窓会があつて呼ばれました。また、11月には新百合ヶ丘で通った中学の卒業30周年の同窓会があり、その企画を私もやっております。こうした中でやはり感じるのは、人のつながりは大切だなということです。5月にロータリークラブに入会させていただきましたが、規模の大きなクラブですので、まだ皆さまとしっかりとお話もできておらず、大変失礼をしているところがございます。在任中はしっかりと務めを果たすとともに、皆さまとより一層の親交をはからせていただきたいと思っています。今後もロータリアンの一人として精進していきたいと思っています。皆さまの引き続きのご指導をお願いしまして私の卓話を終えたいと思います。ご清聴ありがとうございました。